2021年度 シラバス 日本工学院専門学校

2021年度 日本工学院専門学校

ITスペシャリスト科/セキュリティ専攻

ネットワーク実習2

対象	2年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	所信浩			実務経験	有	職種	ネットワークエンジニア				

授業概要

·スコ認定技術1で学習するネットワーク機器の取り扱い方、設定や動作検証方法の知識だけではネットワークの構築はできない。それらの知識を

技術と技能として習得するには実際の機器を操作し、成功や失敗することで習得できる。 この実習の目的ははルータやスイッチングハブといった実際の装置を使い、それらの基本的な操作方法や設定からネットワーク同士が通信するため に必要な機能の実装方法、確認方法、トラブルシューティング方法を実習を通して習得することである。

到達目標

この実習の大きな目標は基本的なネットワーク同士が互いに通信できるようにルータやスイッチングハブを設定できる、その動作検証できる、トラブルシューティングできることである。 そのためにはまず、機器が通信できるように基本的な機器の設定方法を習得する。次にネットワーク同士の通信に必要なルーティング機能を実装を習得する。次に、スイッチングハブの基本的な機能設定を習得した後、仮想的なLANを構築する技術を習得する。最後にブロードバンドルータと同様 の機能を実現する技術を習得する。

授業方法

シスコネットワーキングアカデミーCCNA Routing & Switchingの教材のRouting and Switching Essentials v6の実習課題を実際のルータやスイッチ ングハブを使って実習する。ルータの基本的な設定から始まり、ネットワーク同士の通信の通信に必要な設定を行う。続いてスイッチングハブの基本 的な設定から仮想LANの設定を行う。最後にインターネットと組織内部ネットワークを接続出来る設定を学習する。

成績評価方法

試験・課題 50% 全体の理解度確認のために実技試験を実施する

小テスト 0% レポート 40% 各項目ごとの理解度を確認するためのレポートを課す

成果発表 0%

平常点 10% 授業参加度、授業態度を評価する

履修上の注意

ネットワーク実習1で習得した知識や技術の習得が前提に授業と実習を行う。また、シスコ認定技術1出扱う内容を実習する。 資料は紙およびデジタルデータで配布する。デジタルデータの場合は授業中に指定するサーバからのダウンロードとなる。私語を慎み、積極的に実 習に参加すること。実習機材は丁寧に扱うこと。出席は授業時間開始時にのみ取る。遅刻は授業開始10分までを認め、それ以降は欠席となる。授業時 間の3/4以上出席しない者は定期試験を受験できない。

教科書教材

実習資料は毎回配布する。関連する資料等についてはそれぞれの実習内意で紹介する。

回数	授業計画
第1回	IOS CLIによるルータの基本設定 IOS CLIを使ったルータの基本設定方法を理解し、設定・検証できる
第2回	IPv4スタティックルート IPv4のスタティック、デフォルトルートの設定方法を理解し、設定・検証できる
第3回	IPv6スタティックルート IPv6のスタティック、デフォルトルートの設定方法を理解し、設定・検証できる
第4回	RIPv2の基本設定 RIPv2の基本的な設定方法を理解し、設定・検証できる
第5回	スイッチの基本設定 スイッチの基本設定方法を理解し、設定・検証できる
第6回	スイッチのセキュリティ機能設定 スイッチのセキュリティ機能の設定方法を理解し、設定・検証できる

2021年度 シラパス 日本工学院専門学校

2021年度 日本工学院専門学校						
ITスペシャリスト科/セキュリティ専攻						
ネットワー	ク実習 2					
第7回	VLANとトランク設定 スイッチのVLANとトランク設定方法を理解し、設定・検証できる					
第8回	VLAN間ルーティング VLAN間ルーティング設定方法を理解し、設定・検証できる					
第9回	標準IPv4 ACL 標準IPv4 ACLの設定方法を理解し、設定・検証できる					
第10回	VTYアクセス制限 VTY回線アクセス制限の設定方法を理解し、設定・検証できる					
第11回	DHCPv4の基本設定 DHCPv4の設定方法を理解し、設定・検証できる					
第12回	DHCPv6設定 ステートレス、ステートフルDHCPv6の設定方法を理解し、設定・検証できる					
第13回	ダイナミック・スタティックNAT ダイナミック、スタティックNATの設定方法を理解し、設定・検証できる					
第14回	PAT PAT設定方法を理解し、設定・検証できる					
第15回	CDPとLLDP デバイスの検定方法を理解し、設定・検証できる					